

ペフトーク第3回「中国SNS」こぼれ話
中国AIアナウンサーから考える今後の世界

2018年11月7日、中国の国営メディア「新華社通信」は2人の人工知能(AI)のアナウンサーをお披露目しました。1人は英語で、もう1人は中国語の視聴者向けだそうです。人間のアナウンサーが働くのは毎日8時間ですが、AIのクローンは24時間365日休まずにニュースを読むことができます。AIが人間の仕事を奪うような記事はよく目にするようになって来ましたが、いよいよという気がします。特にこうしたコンディションにムラがある人間に比べ疲れないAIの特性を活かした分野は優位です。

この流れでいくと、普及版はデパートの案内や色々な案内役に導入されると思います。2015年、高島屋大阪店のメンズシャツ売り場に「ミナミちゃん」という大阪大学が作ったアンドロイドがいました。売上成績は何と21人中6位。1位の人間の販売員が週に80万円売り上げたその同じ週にミナミちゃんは60万円を売り上げたという事です。物珍しさだけでなく、ちゃんと話しかける利用者がいて売上アップに繋がっていたというのがポイントです。開発した大阪大学の先生は「お客さんというのは、ロボットは嘘をつかないと思っているから、自分を騙さないという安心感があるから買ってしまう」と言っています。確かに、僕でも人間の店員がやたら薦めてきたら、本当に思っているのかなと思いますし「やっぱり要らないです」という時も気を使ったり面倒くさい。その点、ミナミちゃんはとても気楽です。

こういう議論になると「コンピューターが進化しても人と人のふれあいは大事」とか言われますが、世間の人は実際どれくらいそれを求めているのでしょうか。このミナミちゃんの例は、機械の方が人間への不信感やしがらみから来るしんどさを軽減するのに向いていると思わざるを得ません。

個人的に一番需要があるのではないかと思うのは介護の分野です。老人の愚痴や相談は聞く方も日々となるとしんどいものですが、話す方も他人に言うのも恥ずかしい事やあまりにもしょうもない事は生身の人間より話しやすいし、きちんと聞いてくれた上で何かしら答えを導き出してくれるAIの方が気楽だと思うのではないのでしょうか。秘密もきちんと守ってくれるし、健康管理や異常事態への判断もAIの方が正確とくれば信用もできます。何しろ24時間疲れ知らずですから介護疲れというものもありません。

また、20年後くらいには、教育にもAIが導入されるようになっていくと思います。ある分野において神レベルに教え方が上手い人や、数々の名門を合格させて来た先生のデータを入れておけば、中途半端な実力の先生は要らなくなるし、優秀な人でもコンディションなどで生じる授業内容のムラがなくなる。生徒も学校に行けない日はオンラインでいつでも見れる。

導入費用はかかるけれども、教え方は古いのに費用だけはやたらかかるキャリア組の先生の維持に比べれば全然マシではないでしょうか。それに不必要なコミュニケーションやおかしな体罰とかवाईセツ行為もない。いじめだって、監視カメラとAIがあれば人間の先生より対処も早いと思います。スクールカーストとか生徒間の問題もアルゴリズムを見抜くAIの得意分野です。それにその頃には、個体差で人を差別するような環境にわざわざ行かせる必要もないという選択肢も確立しているのではないかと思います。

そんなAI時代になった時、最も人気を博するのは家庭用のお世話役だと思っています。映画「ブレードランナー2049」のジョイという美少女ホログラムAIを見た時、こう感じました。未来のAI時代は誰もが羨む身体的に優れた恋愛強者でない限り、中間以下の人はAIに置き換えられる、と。中途半端に好きな異性のために無理に話を合わせたり、行きたくもない所に行ったり、記念日にはプレゼントをしないといけない、それでもいつ気が変わってフラれるか分からない、そんな現実とのコスパの差がどんどん開き出す、そんな未来です。

AIは接するごとに傾向を覚えるので、年々居心地の良さがアップします。健康を考えて注文してくれる料理や食材、細やかな趣味に合わせた気の利いた贈り物、言葉の返しの上手さの精度も上がっていきます。こちらの虫の居所が悪くても、絶妙のユーモアと愛嬌で和らげてくれるでしょう（今でも大喜利AIが出始めていて、意表をつく面白い解を出す時があります）。僕たちはどれだけ好きでも同棲すると、だんだん嫌いになるというケースもあると思いますが、そういうのとは全く逆のアルゴリズムが働くわけです。

とは言え、ここまで入れ込める段階にはまだまだかかるとは思いますが、今バーチャル・ユーチューバーも頭の回転も早くて博識で面白い会話ができる人が増えてきて、中途半端なりアルよりも話もためになって楽しかったと思わされる事も多くなってきました。そして、そうした子たちのデータから開発された、配信ではなくいつでも相手をしてくれる個人用のAIユーチューバーが誕生したらどうでしょう。非モテだから代用品で我慢するというレベルではなく、積極的にバーチャルを選択をして生活を豊かにする、そんな人が増える未来はそう遠くない気がしています。

Masamichi Furukawa

<http://vg.pe.hu/jp/cm/fm.html>